

## 東京大学物性研究所特任研究員公募について

1. 職名および人数  
特任研究員（特定有期雇用教職員） 1名
2. 所属  
東京大学物性研究所 社会連携研究部門 データ統合型材料物性研究部門
3. 就業場所  
東京大学物性研究所  
柏キャンパス（千葉県柏市柏の葉5-1-5）  
変更の範囲：変更がある場合には、本学の指定する場所に限る。ただし、配置換又は出向を意に反して命じられることは原則としていない。
4. 公募・業務内容  
物質・材料の所望の物性・材料特性を事前に指定し、それを実現する物質を逆設計するための革新的なアルゴリズムの開発を行う意欲的な研究者を公募する。本部門は、東京大学物性研究所とトヨタ自動車株式会社との契約に基づいており、PI と連携しながら新しい研究分野にも積極的に取り組むことができる人材を求める。これまでの研究分野は問わないが、ニューラルネットワークなどの機械学習や自動微分に関する経験があると望ましい。  
変更の範囲：配置換、兼務又は出向を命じることがある。ただし、意に反して命じられることは原則としてない。
5. 応募資格  
着任時点で博士の学位を有する者
6. 契約時期  
採用決定後なるべく早い時期
7. 任期  
採用日～令和7年3月31日  
更新する場合があります。更新する場合は、年度ごとに行う。  
更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。ただし、更新回数は2回、在職できる期間は令和9年3月31日を限度とする。
8. 試用期間  
採用された日から14日間（東京大学教職員就業規則第8条による）
9. 応募締切  
令和6年6月28日（金）必着
10. 提出書類  
○履歴書（東京大学統一履歴書（<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>）を用いること）  
○これまでの研究業績の概要と今後の研究計画（A4用紙2枚程度）  
○研究業績一覧（特に重要な論文に○印を付けること）  
○応募者についての意見を聞ける方(2名)の氏名、所属、連絡先

11. 提出方法

提出先：東京大学物性研究所総務係 Email：issp-jinji@issp.u-tokyo.ac.jp

空の電子メールを件名「物性研究所社会連携研究部門 データ統合材料物性研究部門（特任研究員）」にて上記提出先に送付し、その後返信される電子メールに記載された書類提出先フォルダに応募書類一式をアップロードすること

※勤務日 2～3 日以内に返信メールが届かない場合には総務係へご連絡ください。

12. 照会先

提出手続きに関する問い合わせは提出先に、それ以外は下記まで問い合わせること

東京大学物性研究所 尾崎 泰助 Email：t-ozaki@issp.u-tokyo.ac.jp

13. 募集者名称

国立大学法人東京大学

14. 就業時間

専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分勤務したものとみなされる。

15. 休日

土・日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

16. 休暇

年次有給休暇、特別休暇等

17. 賃金等

「東京大学年俸制給与の適用に関する規則」に定める第 4 条、第 5 条及び第 6 条による（年額約 4 3 0 万円程度）

諸手当：通勤手当（原則 55,000 円まで）のほか、本学の定めるところによる。

18. 加入保険

法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入

19. その他

○東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。

○外為法等の定めにより、国外機関との兼業や外国政府等からの多額の収入があり、本学における研究上の技術の共有が制限される場合には、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。そのため、着任後の兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。

○特別休暇（産前・産後休暇）又は育児休業を取得する場合、「東京大学における教員の任期に関する規則第 3 条」に準ずる扱いとし、申し出により、特別休暇（産前・産後休暇）又は育児休業の期間を限度として、雇用の更新を可能とします。

○お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込みください。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

○受動喫煙防止措置の状況は屋内原則禁煙（喫煙場所設置）です。

令和 6 年 4 月 22 日

東京大学物性研究所長 廣井 善二